

第9回市民交流会を開催しました

メインテーマ “語ろう減災 チャレンジ減災”

減災とは.....地震等の災害において、ある程度の被害は発生するものとして、受ける被害をどう減らすかを考えて対策することです。

去る2月8日(日)に、第9回を迎えた市民交流会が亀山高校にて開催されました。市内には190以上の市民活動団体がありますが、それらの団体活動の横のつながりをもっとつなげて想いを実現してもらおうと2001年に始まり毎年開かれています。

今回は、小学生から高齢者まで世代を超えた約300人が集いました。新市長の櫻井氏もみえて「本市には素晴らしい人的資源や、人と人とのつながりがあります。人もまちも輝くことができるようサポートしていきます。」と挨拶されました。



亀高吹奏楽部のみなさんによるオープニング演奏

亀山高校の校長先生の指揮のもと、吹奏楽部の皆さんの演奏でオープニングしました。曲は「崖の上のポニョ」などおなじみの曲で会場を盛り上げてくれました。

わらべうた遊びを披露

東小学校、川崎小学校から子どもたちが集まり「かごめかごめ」や「あんたがたどこさ」、「とう

りゃんせ」などの遊びを披露しました。

昔の子どもの遊びの一つである「わらべうた」を継承しようと、「わらべうたあそびの会」が昨年に結成され、各小学校や児童施設等にボランティアで教えまわり、その成果をこの場で披露しました。



新型インフルエンザについて庵原先生が講演 -映画「感染列島」のようにはならない-

最近、メディア等で騒がれている新型インフルエンザ。正しい知識で減災につなげようと厚生労働省の新型インフルエンザのワクチン研究班の代表(三重病院院長)庵原先生に「新型インフルエンザについて」基調講演をしていただきました。約40分におよぶ充実した講演でした。

講演の内容

10年~40年ごとに新しいインフルエンザが出てきて、誰も免疫を持たないので大流行する。しかし、最近の映画「感染列島」のようなことにはならないだろう。



予防方法は、手をよく洗い、マスクをすることである。咳エチケットを守り、人ごみに行かないなど、今までのインフルエンザ対策でよい。

もしも新型インフルにかかったら、7日~10日位熱が続く。流行したら、10%~30%位の公共機関の人たちも(医師達も)休み対応できる人が減り、混乱が起こるかもしれない。

分科会~非常食も試食しました~

分科会は、場所を移動して、4つのテーマに分かれて話し合いがされました。

昼食は、非常食で湯を入れるだけで食べれる「味ご飯」とスタッフ手作りの「トン汁」でした。非常食と言っても意外と美味しいという声が大半でした。

最後は全体会での発表

参加者全員で情報を共有するため、体育館に戻り各グループの発表が行われました。(詳しくは3ページに記載)



(伊藤幸)



市民交流の日 レポート 2月21日(土) 9:00～11:00 市民協働センター「みらい」

第9回市民交流会では、わらべうたを披露してくれた子どもとその親、そしてオープニング演奏をしてくれた亀山高校の吹奏楽部の皆さんを入れると約300人が集いました。

準備等に当たったスタッフを中心に良かった点や反省点、第10回をどんな交流会にするのかを語っていただきました。

良かった点

- ・亀山高校で交流会を開催して良かった。
- ・基調講演も分科会も昼食も全て良かったと思う。
- ・体育館での飲食禁止やスリッパの履き替えを徹底されたのは見事だった。
- ・分科会等で普段会えない人たちに会えた。
- ・昼食の非常食と豚汁は美味しかった。
- ・亀高の運動部の生徒達が率先して準備してくれたことに感謝。
- ・占いブースは人気があった。
- ・お手本になるようなご家族がみえてよかった。
- ・初参加者の印象が良かったことは評価できる。
- ・初参加者には、従来に無い動きを感じた。

反省点・検討すべきこと

- ・ブースを見てもらう時間が少ない。
- ・バザーは、もっと多くても良いのではないか。
- ・亀山高校生のブースがあった方がよかった。
- ・参加者に何かしてもらうこともよい。
- ・送迎バス等も考慮した方がよい。
- ・回収できたアンケートが少なかった。
- ・何のために何をやるか解り難い。小学生に解り易いようにして、ポスターに書かなければならない記載必要事項の指定は実行困難。
- ・学ぶことだけの人集めは困難。遊び的なことや物品販売が多くないと人が集まらない。
- ・講演とブースのみの交流会があってもいい。

3月21日(土)のテーマ：「美し国三重について」

午前9時～11時です。(4月以降の定例会は、土日の場合は朝9:30～11:30になります。)

～ **輪を広げましょう！どなたでも自由に気軽に参加できます** ～

あなたもぜひ、一度のぞいてみませんか？(^o^)

= 交流会に参加した皆さんの声 =

認知症予防のために、家から出て交流会に参加することが、本分科会で一致した考えでした。

今後も参加していきたいと思いました。

楽しく色々な話が聞けてよかった。

和気あいあいとして楽しかった。有意義！

初めて参加したが、とっても有意義だった。自分でできる減災について改めて考えていかなければと自覚した。

自分の住む場所の形態についてどのように調べればよいか勉強になりました。

初めて食べた非常食が意外と美味しかったので、購入しようと思った。

亀山市には地震についてのエキスパートがいることが分かり、自分の地区でこのような話が出た時は、お世話になろうと思いました。

亀山高校の吹奏楽部の皆様の素晴らしい選曲で、大人も子どももとても楽しめました。

亀山高校の演奏で校長先生が指揮していたのが印象的でした。次回は是非、校長先生のトランペットを聞きたいです。

わらべうたに参加された指導者や保護者の方達は多かったのですが、分科会に参加してほしかった。

講演会「新型インフルエンザについて」で対策について特別になかったのが残念。

体育館から分科会会場までが遠かった。

バザーとか参加している店は、全体会が終わるまで残っていてほしかった

です。分科会が終わって改めて見ようと思ったのに残念です。

トン汁美味しかったです。ありがとうございました。

分科会の会場や食事場所が離れすぎています。次回から分科会をやめて講演会のみにしてはどうでしょう。(皆さん帰ってしまわれるので)





亀山市に最年長(80歳)と最年少(13歳)の 車椅子フォークダンスインストラクター誕生

NPO法人車椅子レクダンス普及会は、2月22日に亀山社会福祉センターで開催されたインストラクター養成講座に参加された石原 正さん(80歳)、久保山 歩さん(13歳)他7名の計9名をインストラクターとして認定しました。石原さんには同世代の方に元気を分けてもらうことを、久保山さんには若さと笑顔で高齢者に接していただけることを期待しています。



写真:認定された
石原 正さん(左)
久保山 歩さん(右)

車椅子レクダンス普及会亀山支部
渡邊 佐智男

KIFAMIGO2009今年も盛大に

国際交流イベントKIFAMIGO(キファミーゴ)が2月15日に開催されました。青少年研修センターの講堂を埋めつくす100人以上の半分は外国出身の皆さんでした。日本に来て感じたことのスピーチや踊り、100人太鼓では中国からの研修生たちも一緒に太鼓で盛り上がりました。昨年末に始まった経済不況で外国人の雇用状況も深刻です。

困窮家庭への支援(カンパ)も行われました。

KIFA
亀山国際交流の会



市民交流会 各分科会の発表

(実行してること、したいこと)

地震災害からの減災

<減災のための対策>

- 井田川地区に消防署の増設
- 各地域に防火水槽の確保
- 公民館・集会所の耐震化
- 訓練・講習へ積極的に参加

犯罪からの減災

<犯罪> 空き巣、車上狙い、詐欺、いじめ、不審者など

<対策>

- ・毎日交代で地域通学路に立ち、防犯活動をする。
- ・郵便配達の人や民生員に独居老人に声をかけてもらう。
- ・近隣に挨拶を積極的にする。
- ・家に引きこもらない。
- ・家族間のコミュニケーションを図る。
- ・近所へは、車ではなく徒歩や自転車で出かける。
- ・地域の防犯活動に積極的に参加する。

風水害からの減災

(伊勢湾台風等に学ぶ) 自然を知り自然との共存。

- ・川の氾濫に対しては、遊水地の確保が必要。
- ・水田や畑、池の確保と、近くに家屋を建てない。
- ・各家庭では、緊急避難場所の確認が必要。
- ・水、光(ローソク、懐中電灯など)、非常食や電池等を備蓄、緊急情報の確保を確認。

森林消滅の危機

原因: 大気汚染(工場や高速道路からの)と森林放置

- ・鈴鹿山脈が枯れてきている。
 - ・森林の破壊によって水害が出ている。
 - ・森林の活性化のための市民みんなが努力して実行しなければならない。
 - ・豪雨だと森林は吸収してくれず、災害が起きる。
- 昭和時代の発展によって出た弊害を平成生まれの人々へ引き継がないように対策が急務。
- ・どうしたら良いか、皆さんに色々な意見を出してほしい。

病からの減災

認知症についての意見交換となった。

<認知症の症状>

- ・5分、10分前のことを忘れる。
- ・方向(地理)がわからない。
- ・お釣りの計算ができない。

<注意すること>

- ・物忘れが認識されたら、病院へ行こう。
- ・家族が認知症になったら怒らないこと。

<認知症の予防方法>

- ・地図を見ながら散歩する。
- ・メモを取りながら料理番組を見る。
- ・暗算する。
- ・新聞記事を書き写しながら読む。
- ・お客さんを招待して歓談をする。
- ・人と話をすることが有効。
- ・早寝早起きが有効。
- ・生活習慣病にならないこと。



あのひと、このひと

このコーナーは、市民活動団体などの代表者の方に市民活動を始めたきっかけや、これから活動を始める方へのアドバイスなどを率直なことばで語っていただきます。

今月は、「ハーモニカ元気」の廣田 武司さんです。

ポケットに入れて持ち運びができて、手軽に演奏ができるハーモニカ。小学校で習った懐かしい「ふるさと」や「赤とんぼ」の小学校時代の唱歌をもう一度吹いてみたいと思い、市の講座をきっかけに会を結成して今年で3年目になるグループです。

ハーモニカは、吹いて吸って音の出る楽器です。いわば、音楽を楽しみながら深呼吸をしているようなものですから健康に良いです。ハーモニカは、独奏だけでなく、二重奏や合奏と色々な演奏で楽しめます。ハーモニカには、みなさんがよくご存知のサイズから、30cmぐらいのサイズのものもあります。



私たちの会では、最初の頃はハーモニカ入門ということで「メリーさんのひつじ」や「蝶々」の曲をシングル奏法で吹きました。ハーモニカを吹いてみると、昔の記憶がよみがえる方も多いでしょう。シングル奏法ができるようになると、ハーモニカの穴を同時に吹く三度奏法、舌で伴奏をつけるベース奏法へと高度な奏法を学び、繰り返し練習します。

独奏も良いけれど、第1メロディーや第2メロディー、コードとベースの各ハーモニカで合奏して、リズムやテンポが合うと満足感は最高です。

仲間と冗談を言い合いながら、和気あいあいとハーモニカを吹くのも、楽しみの一つです。

私たちの会は、現在60歳以上の男女10名です。第1と第4水曜日の午後1時から「みらい」で練習をしています。第4水曜日は、やさしくて楽しい講師に教えていただいています。

ぜひ、一度私たちのハーモニカの練習を気楽に見に来てください。きっと入門したくなると思います。最後に発表会についてですが、毎年生涯学習の発表会(生涯学習フェスティバル)に参加させて頂いています。今年は、5月24日(日)に、名古屋中川小劇場で発表会に参加をする予定もあります。

これからもっと会員を増やして、みなさんとハーモニカの良さを味わってもらいたいです。

問合せ 廣田 TEL 83-0314

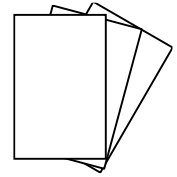


写真：練習風景(みらいにて)



協働事業提案制度

平成22年度実施の市民提案を募集します。



市では、新たなまちづくりの施策として協働事業提案制度を昨年に創設しました。
「行政と協働して事業を始めたい。」あるいは「既に行なわれている行政の事業をより良いものにしたい。」そんな思いのある皆さんからの提案を募集します。
なお、提案分野には、特に制限はありません。

亀山市の協働とは、「市民が互いに、また市民と行政が、それぞれの持つ特性を活かしながら、役割分担・連携・補完・協力を図り、住みよいまちにするという共通の目的に向かって、対等の意識で共に取り組むこと。」です。

募集期間：4月1日(水)～5月29日(金)(土・日・祝日は除きます。)

受付時間：午前8時30分～午後5時

応募方法：市役所 市民部 市民相談・協働推進室に備え付けの「協働事業提案書」に必要事項を記入のうえ、応募してください。

応募資格(応募できる団体)：

市内で活動を行っている(又は計画がある)団体が対象となります。自立的、継続的に活動している(又は活動していく)こと。ただし、政治、宗教、営利を目的としないこと。

協働事業提案制度の説明会を開催します。

お待ちしております！

と き：(第1回)4月9日(木)午後7時30分～

(第2回)4月11日(土)午後1時30分～

と ころ： 両日 市民協働センター(みらい) 2階大会議室



平成21年度の協働事業開始のお知らせ。

平成20年5月から6月にかけて市民提案された6事業を下記のとおりで、平成21年4月から市民団体と行政が共に協力しながら協働事業が行なわれます。

提案事業名	内容	市民団体名	行政部署名
亀山に伝わる古代伝説継承事業	ミュージカル「白鳥伝説」をDVDに収録し、各施設に配布	かめ劇団「CAME」	教育委員会 まちなみ文化財室
みんなで作ろう避難所用ケータイ充電ツール事業	ケータイ充電ツール製作のワークショップ開催	防災減災チャレンジャー	危機管理室
～未来へ羽ばたく子どもたち～坂下天文観測施設オープン記念事業	坂下天文観測施設オープニング開催と探検隊の育成	坂下星見の会	教育委員会 生涯学習室
東海道五十三次関宿四十七番札「関宿かるた」事業	「関宿かるた」とガイドブックの作成	NPO「東海道関宿」	教育委員会 まちなみ文化財室
安楽川保全事業	安楽川での環境イベントの開催	野登清友会	環境森林部 環境保全対策室
あなたとふれあい映画会～笑い、涙、そしておしゃべり～事業	映画会とおしゃべり会の開催	映話ひととき会	保健福祉部 高齢・障害支援室

申込・問合せ

市民部 市民相談・協働推進室 TEL 84-5008 FAX 82-1434 E-mail shimin@city.kameyama.mie.jp



市民協働センター みらい2周年記念講演会に来てください

みらいのオープン2周年を記念して、記念講演会を開催します。
NPOの最前線で世界的に活躍され、テレビ等に出演されている
中央大学総合政策学部教授 目加田 説子氏を講師としてお招きし
地域課題への取組みについての講演をしていただきます。
講演会の後には、参加者同士の交流会を開催します。
ぜひご参加いただき、みなさんの市民活動をさらに飛躍して頂ければ幸いです。



と き : 4月19日(日)午後1時30分～午後4時20分
と ころ : 市民協働センター(みらい)1階多目的ホール
内 容 : 13:30～15:30 講演会

め か た も と こ
講師 中央大学教授 目加田 説子 氏
演題 「地域課題解決へ向けての
きっかけづくり」

15:40～16:20 交流会
参加費 : 無 料

- 講師プロフィール -

上智大学卒業後、ジョージタウン大学修士課程(M.A.)、コロンビア大学修士課程(M.S.)を経て大阪大学国際公共政策研究科博士過程修了(国際公共政策博士)。2001年に経済産業研究所研究員、2002年東京大学客員助教授を経て、2004年より現職。また、1997年より地雷廃絶日本キャンペーン(JCBL)運営委員、2003年より日本NPO学会理事、2008年より日本平和学会理事兼副会長。現在、TBS系列「サンデーモーニング」のコメンテーターを務める他、『東京新聞』のコラム「放射線」を毎週金曜日に執筆中。

- 主な著書 -

- 『地球市民社会の最前線 NGO・NPOへの招待』(岩波書店、2004年)
- 『国境を超える市民ネットワーク トランスナショナル・シビルソサエティ』(東洋経済新報社、2003年)
- 『地雷なき地球へ-夢を現実にした人びと』(岩波書店、1998年)
- 『ハンドブック市民の道具箱』(編著、岩波書店、2002年)
- 『NPOデータブック』



問合先: 市民部 市民相談・協働推進室 TEL 84-5008 FAX 82-1434

市民活動ニュースに掲載する情報・お便りを募集しています

詳しくは、市民相談・協働推進室(Tel 84-5008、Fax 82-1434、Email: shimin@city.kameyama.mie.jp)
又は、市民協働センターみらい(Tel.84-5800 Fax.84-5801、Email: mail@shimin-kyodo.sakura.ne.jp、
東町一丁目8番7号)へご連絡ください。

編集作成: 「きらめき亀山21」広報部(問合せ先: 亀山市民部市民相談・協働推進室〒519-0195三重県亀山市民本丸町577番地)
市民活動ニュース入手場所: 毎月21日市民交流の日・本庁ロビー・市民協働センター「みらい」・関支所・図書館・歴史博物館・
医療センター・総合保健福祉センター「あいあい」・関町北部ふれあいセンター・林業総合センター・鈴鹿馬子倶楽部・老人福祉センター・健康づくり
関ヶ原センター・関B&G海洋センター・青少年研修センター・オアシス館・各地区コミュニティセンター・亀山郵便局・亀山駅前郵便局・亀山駅・
百五銀行亀山支店・市民のショップねこの館・茶気茶気・鈴鹿県民センター・みえ市民活動ボランティアセンター(津市)
ホームページ <http://shimin-kyoudo.sakura.ne.jp/kirakame21/> 市民ネット <http://www.shimin-kyodo.sakura.ne.jp/shiminet/>
「きらめき亀山21」メーリングリストへの加入は「きらめき亀山21」HPより登録できます。